

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和7年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 血液リウマチ感染症内科

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく FAXの使用量を減らし、メールで代替できるように努める	12. 5		周知事項に関してはほぼメールリングリストによる周知を図っていた。一部重要事項に関しては印刷し、回覧形式を継続した。今後は重要事項に関してもペーパーレス化を進めていく必要がある。 両面印刷は概ね実施できていた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用 各自食器持参で使い捨て用品の使用減	12. 5		昼食時は各自食器持参対応ができていた。 クリアファイルの再利用も問題なくできていた。 ごみの分別は繰り返し周知したにも関わらず、十分にできていなかった。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5		前年度から継続しグリーン商品購入できていた
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化・サーキュレーターの併用 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3		医局に誰もいない時間帯の消灯や冷暖房の停止はできていた
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担	8. 5		医局内での休暇の取得状況に大きな差があり、業務分担が不十分であった。一方で診療グループ間での連携は取れており、連絡の祖語による業務負荷の増加等は見られなかった
次年度の課題	消灯、冷暖房の停止などは徹底できていたが、ごみの分別は不十分で課題が残る状況であった。ごみの分別を徹底するための周知活動が必要と考えられた。また科内での連絡事項等はペーパーレス化が進んでいるが外部（製薬会社）等からは紙ベースの情報提供が続いており、今後の課題と考えられる。				
環境活動者の取り組み評価	ペーパーレス化や省エネ、グリーン商品の購入などは浸透・定着してきた。今後は外部機関へペーパーレス化の推進を働きかける必要がある。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 呼吸器病学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・印刷時は、両面印刷や集約・縮小を行い、コピー用紙の使用を減らす。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	医局プリンターでも両面印刷を推進したが来年度さらなる低減に努める。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミの分別を徹底し、燃えるゴミの量を減らす	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログ・見積もり先で確認を行う。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	購入費用の一部が植林活動へ寄付されるコピー用紙を購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・使用していない部屋の電気を消す。 ・冷蔵庫の中のをものを整理し、減らす。	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	使用していない部屋の消灯を積極的に行った。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
古紙（ミックスペーパー）の適切な分別	燃やすごみに入る古紙の量を減らす	・古紙の分別を徹底する。当直明けの休憩時間の確保	15. 2	15 陸の豊かさも 守ろう 	古紙の分別ボックスの徹底を行なった。
試薬の管理	実験試薬について、適正に管理する	・使用簿、受払簿の適正な管理を行う。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	・使用簿、受払簿の管理は適正に行われていた
次年度の課題	・プリンターでの用紙使用量低減については、新年度アナウンスを行なっていく。ゴミの分別についても新年度再度周知する。				
環境活動者の取り組み評価	各委員会のお知らせをメールで共有することが浸透し、紙ごみの減少した。いまだグリーン購入品への意識は高くないため、来年は促進していきたい。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 循環器・腎臓・高血圧内科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 SDG s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、コピーでの回覧ではなくEmailでの共有とする。 コピーを用いる際は、両面印刷設定にする。	12. 5		コピーによる回覧はほとんど無くなり、資料共有に関しては全てEmailで共有することが浸透した。署名が必要な用紙のみが印刷された。印刷物に関しては両面印刷も進められている。両面印刷によるプリンターの紙詰まりトラブルが何度かあった。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみの分別を徹底する。 ごみの持ち込みを禁止する。 ペンやファイルなどの不用備品の再利用をすすめる。	12. 5		ゴミ分別は個人差はあるが、かなり徹底されてる。もえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、ペットボトルキャップ、缶、紙、電池、プリンター関連廃棄物と細かく分けられ、概ね守られていた。汚れが残るプラスチックは人によってまちまちではあった。ごみの持ち込みは無いと思われる。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品を購入する意義について周知する。 現在の状況について把握し、改善していく。 カタログまたは見積り先に確認を行う。	12. 5		コピー用紙など代替可能なものは再生紙を用いているが、多くの物品に関しては性能、コストを重視することが多く今後の課題と考えられる。グリーン商品購入の状況把握や、グリーン商品の把握が十分でないかもしれない。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化。 消灯の徹底。離席時にパソコンの省電力機能を設定する。 クールビズの徹底。 節水。2アップ、3ダウンはエレベーターは使わずに階段を使用する。 業務を効率化し、残業時間の短縮を図る。	7. 3		不要照明の消灯、離席時の省電力機能設定の徹底、不要なエアコンオフといった行動が積極的にみられた。定時退勤を守るのは困難であったが、残業は短縮傾向であり、省エネルギーにつながっている。エレベーター利用の自粛は促している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 SDG s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	2025年度：循環器内科がチーム制導入 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5		有給休暇の消費は定期的に促されている。労働時間の短縮は難しいところが多い。当直明けの休息時間は確保が難しい。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく。節電の意識をより高めていく。ゴミの分別化を徹底する。 グリーン購入品への意識は乏しいため、より積極的に購入を検討していく。 業務のスリム化、残業時間の短縮の促進。 業務の効率化を進めるため、無駄な作業や簡略化できる業務がないかを再度検討しなおしていく。 施設全体としての光熱費削減には、導入時コストとの天秤にはなるが、LEDライトへの置換、人感センサー導入エリアの拡大が望ましい。				
環境活動者の取り組み評価	各委員会がweb開催となることが多く、紙資源の節約はだいぶ進んだと思われる。各委員会のお知らせをメールで共有することが浸透し、紙ごみの減少とともにカンファレンスの時間短縮にも寄与した。いまだグリーン購入品への意識は高くないため、促進していきたい。 働き方改革に関しては改善はなく、より一層の努力が必要である。残業短縮化、有休取得推進を進め、継続し、来年は実務に活かしたい。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

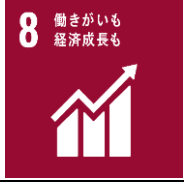
所管部署名 消化器内科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、コピーでの回覧ではなくEmailでの共有とする。コピーを用いる際は、両面印刷設定にする。	12. 5		
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみの分別を徹底する。ごみの持ち込みを禁止する。 ファイルなどの不用備品の再利用をすすめる。	12. 5		
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品を購入する意義について周知する。現在の状況について把握し、改善していく。カタログまたは見積もり先に確認を行う。	12. 5		
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化。 消灯の徹底。離席時にパソコンの省電力機能を設定する。クールビズの徹底。 節水。2アップ、3ダウンはエレベーターは使わずに階段を使用する。 業務を効率化し、残業時間の短縮を図る。	7. 3		
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用 安全で健康に働ける職場の確保 仕事における権利の保障	大学病院のミッションとして臨床だけでなく、研究や教育が重要であるが、新たな勤怠システムは臨床偏重の組織文化を醸成するリスクがある。研究棟に在室している時間でも時間外で研究や教育の業務に従事している場合、適切に残業として申請することを推奨する。	大学院生の研究指導や教育は自己研鑽ではなく、教員の主要な業務であることを確認し、教員が働きがいを感じられる環境が確保されているか、大学院生が十分な指導を受けることができているか、勤怠管理システムの変更による悪影響についてヒアリングを行う。	8. 5		
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和7年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 肝肝臓消化器病学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	配布物はメールの添付の形をとり、印刷物を減らす。	15. 3		配布物はほぼすべてメール添付の形で行なう、もしくは、指定の場所に1部のみおいて、閲覧のサインをしてもらっている。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	廃棄物の分別を厳格化する。	7. 1		分別は厳格に行われている。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	紙やインクなどグリーン商品と明記されているものを購入する。	7. 1		購入物は可能な限り再生のものにしている。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使ってない部屋の電気を消す。 エアコンの設定を適切な温度にする。	7. 1		使用していない部屋の電気、冷房は消している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある環境	働き方改革の推進 残業時間の短縮	個人の業務負担を適切にする。 当直明けの休息時間の確保	8. 5		残業が規定以上をこえた医師はいない。しかし、業績は維持している。
次年度の課題	教室の体制も変わり、決まり事を守る連絡をする。				
環境活動者の取り組み評価	おおむね予定通り行えている。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 内分泌・糖尿病内科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

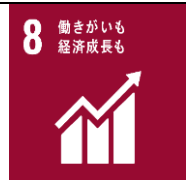
所管部署名 神経内科学・脳卒中医学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 がん総合医科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

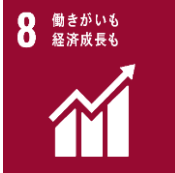
所管部署名 外科治療学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	多くはメールで資料を送付する形とし、紙面での閲覧は共有が必要なものののみ1部だけ両面印刷するなどの工夫を行った
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミ分別、不要備品の再利用を行うことができた
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック 環境管理研修の周知、啓発	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	周知、啓発は行ったが徹底されてるかどうかに関しては確認ができなかった
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化 小まめな電源オフ	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	冷暖房の温度設定、部屋の消灯はしっかり行うことができた。またエレベータ使用に関しても上2階下3階までの階段利用を周知した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	当直明けを中心に働き方改革に関する周知徹底に心がけた
会議の見直し	令和6年に対して10%の削減	会議開催の見直し WEB会議の推奨	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	カンファランスや会議の見直しを行い可能な限り短時間で終わるように調整した
次年度の課題	これまで取り組んできた課題の周知徹底により、それぞれの改善を図っていきたい。				
環境活動者の取り組み評価	おおむね目標に対しての取り組みは良好であったと考える。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 消化器・腫瘍外科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	カンファレンスや勉強会のお知らせの共有は、紙面での回覧ではなく chat work等のアプリやメールでの共有とする 文献等の保存は各自で可能な限りソフトで保存する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ごみの分別の徹底 ペーパーレスへの移行	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	教室内の購入物のグリーン商品への移行	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	夜間、休日の教室内不在時の消灯の徹底 空調の過剰な利用をしないように心掛ける	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	出勤時間のフレキシブル性の徹底	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 麻酔科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 脳神経外科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 産婦人科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 小児科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 泌尿器科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	資料を電子メールにて情報共有するなどして、コピー用紙の削減を目指す	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	資料の送付や告知を電子メールで行い、コピー用紙の使用頻度を下げることができた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	実験器具や容器等のうち、再利用可能なものについては、洗浄や滅菌することにより可能な限り繰り返し使用し、廃棄物の削減を目指す インクのトナー容器を回収し、再利用を行う	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	チップをバラの袋で購入し、詰め替えて滅菌し利用することでチップの箱を再利用するなど、廃棄量削減の取り組みを継続して行うことができた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	森林が持続可能に管理されていることを検証・保証する森林認証 (PEFC) マークの付いたコピー用紙を使用し、地球環境の保護を目指す	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	森林認証マークのあるコピー用紙を必要最小限に利用することで、環境負荷を抑えることができていた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	実験器具などの洗浄時に節水を心がける 各部屋の退出時に消灯を意識し、節電を行う	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	実験器具の洗浄時などにおいて、水を流している時間をなるべく短くすることを心がけながら、水道水を利用した。 使用予定のない部屋が消灯されているかのチェックを、日々の退勤時に行うことができていた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	適切な試薬の使用および保管の徹底	手袋の着用や薬品の転倒防止等の対策を講じることにより、実験者への健康被害を防止する	12. 4	12 つくる責任 つかう責任 	実験手袋や保護めがねを身に着け、安全に配慮した試薬の使用および管理が行われていた。
廃液の適切な管理	廃液分類の徹底 特定事業場からの排水に関する水質基準のクリア	薬品を使用した容器等は最低2回以上の洗浄を行い、その時に生じたすすぎ液は廃液ボリタンクへ回収することを徹底する 廃液ボリタンクに廃液番号と該当する主な薬品名を付箋に記載し、研究室メンバーの適切な廃液処理を促進する	6. 3	6 安全な水とトイレ を世界中に 	廃液のすすぎ方や分類に関する資料を掲示し、適切に廃液処理が行われていた。よく使用される試薬については、何番に該当するかをあらかじめ表記しておき、廃液が誤って処理されることを防止した。化学物質の構造やデータシートなどを調べた上で、廃液分類を判断することができていた。
次年度の課題	新しく入ってきた先生方もいらっしゃるので、感染性廃棄物を含む実験ごみ、廃液の扱いなどについて改めてしっかりと情報共有し、実験者の安全と環境に配慮した実験の実施が行われるように引き続き取り組む。				
環境活動者の取り組み評価	試薬による事故も特になく、安全に実験が行われていた。環境負荷の少ない製品や電子メールの活用によって廃棄物量の削減を心がけるとともに、水道や電力の節約も実践できていた。また、掲示によって廃液がどの番号に該当するのか混乱する頻度も低下し、スムーズに実験が進行していた。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 運動器病態学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 形成外科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

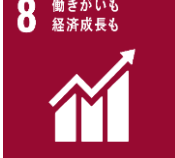
所管部署名 放射線治療学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 放射線診断学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6 年度実績値をベースに、1 年間で 1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全ての PC で両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	当科での紙の使用はそもそも少ないと思われます。 そのうえで、今年度から一部の委員会の連絡は Web ベースへと変更されました。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和 6 年度実績に対し 1% の削減 資源化率 附属病院 85% 以上 福浦 C60% 以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	医局から一部のごみ箱が廃止され、削減につながったと思います。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標 100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	特に変更なく、例年通り。
省エネルギーの取り組み	R4 年度実績値をベースに、3 年間で 3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	我々の職種から、冷暖房の節約や定時退社は困難です。 窓際の部屋です。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	働きがいは各々が考えるよりありません。 科としての推進は困難です。
次年度の課題	冷暖房の温度設定をマイルドにできれば良いと思います。				
環境活動者の取り組み評価	次年度は医局員の半数が変更になるため、現状できていることの引継ぎが重要になるか。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 精神医学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和7年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	オンライン会議を推進し、お知らせや資料はメールで共有、コピー用紙を削減する 印刷設定をPCで両面設定にしておく	12. 5		お知らせや資料はメール共有され、印刷物が削減された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ箱にわかりやすく表示、リサイクル率を上げる	12. 5		ゴミ箱に表示することで分別意識を高め、リサイクル率の向上を目指していたが、シュレッダーゴミに燃やすゴミの混入が見られたり、表示の仕方をさらに工夫した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入時、カタログ又は見積先に確認を行う	12. 5		今年度もグリーン商品を優先して購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	センサーライトの購入提案 冷暖房温度の適正使用 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛	7. 3		使用していない部屋の消灯や冷暖房温度の適正使用はかなり定着していたが、新年度になり女子ロッカーの消し忘れが頻繁に見られ、目にしやすいところに工夫して張り紙をした。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5		取り組んでいる。
試薬・消耗品の管理	過剰在庫の削減	使用簿受払簿等活用し、重複しないよう管理	12. 4 12. 5		過剰在庫が削減された。
実験排水の管理	有害な化学物や物質の放出を最小化にし、水質を改善する。	三次洗浄水まで廃液を保管、有害な化学物や物質の放出を最小化にし、水質を改善する	6. 3		毎週環境整備を行っている事が、実験排水への意識向上に繋がっている。
次年度の課題	本年度習慣化や定着した項目を持続する為、次年度は周知に重点を置き定着を継続させる（ゴミ分別、消灯、冷暖房、印刷物）。グリーン購入品の促進も続ける。				
環境活動者の取り組み評価	オンライン会議やお知らせ資料等メール共有が浸透し、印刷物がかなり削減された。 各項目の習慣化は定着してきているが、意識に個人差があるので、周知を徹底することが大切と考える。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 皮膚科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

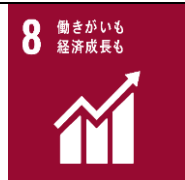
所管部署名 口腔外科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	紙ベースでの資料配布を削減し、印刷も白黒印刷することに努める。 機密情報のない裏紙、印刷ミスした紙をメモ用紙として使用する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	非感染性廃棄物を感染性廃棄物用ごみ箱へ廃棄しないよう、ゴミ分別を徹底に行う。 包装紙、段ボール箱などを積極的に再利用する。	11. 6 12. 5	11 住み続けられるまちづくりを  12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・購入見積を確認し、費用を最小限に抑える。 ・グリーン商品であるものを優先的に選択し購入する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・冷房を28℃に維持し、使用していない部屋はこまめに消灯・機器電源オフに努める。 ・消費エネルギーの少ない製品を用いる（うちわなど）	7. 3 12. 2	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  12 つくる責任 つかう責任 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
実験試薬の適切な管理	薬品保存・使用簿の適切な管理	毒劇物や有機溶剤などの化学物質が適切に保存しているかどうかを適宜確認し、使用時も使用時間や使用量をこまめに記載する。	6. 3	6 安全な水とトイレ を世界中に 	
リスクアセスメントの継続	アセスメントシートの作成・記録	実験室利用前後にリスク評価を行い、各設備	12. 4	12 つくる責任 つかう責任 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 看護生命科学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6 年度実績値をベースに、1 年間で 1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全ての PC で両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	実施できているため、継続していく。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和 6 年度実績に対し 1% の削減 資源化率 附属病院 85% 以上 福浦 C60% 以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	実施できているため、継続していく。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標 100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン購入はおおよそ実施しているため、継続していく。
省エネルギーの取り組み	R4 年度実績値をベースに、3 年間で 3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	実施できているため、継続していく。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	実施できているため、継続していく。
次年度の課題	グリーン購入については意識づけを行っていく必要がある。				
環境活動者の取り組み評価	ほとんどの項目が実施できているため、引き続き取り組みを継続していく。次年度の課題は教室員に共有し、取り組みを強化していく。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 先端成人看護学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいの 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 組織学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	原則両面印刷 コピー裏用紙再使用の促進 2アップの推進 研究室内の会議では、資料を原則としてEメールで配布し、会議用モニターを使用 ペーパータオル使用量の削減	11. 6		研究室内で実施したすべての会議においては、資料を電子メールで事前に配布し、会議中はモニターを使用して進化した。 また、コピー用紙の再利用、両面印刷、2アップ印刷については、概ね適切に運用された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別の徹底、特にコピー用紙、ミックスペーパー、雑誌の分別、プラスチック類の分別、古紙類の再利用	11. 6 12. 5	 	ゴミは適切に細分化して分別されていた。特に、燃えるゴミ、ミックスペーパー、雑誌類の違いについての理解が研究室内に浸透し、確実に実践されるようになってきた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	事務用品のグリーン商品への切り替え 見積先への確認	11. 6		コピー用紙、ティッシュ、ペーパータオルなど、日常的に使用する紙製品については、環境配慮に関する承認を受けた製品を選定し、購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化、ブラインドの使用 研究室内会議でのパソコンと会議用モニターの使用 パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 エレベーター利用の自粛(2UP, 3DOWNは階段を利用) 水の垂れ流しの防止 使用していない部屋の消灯	7. 1 11. 6	 	使用していない部屋については、消灯が概ね徹底された。 また、冷暖房の設定温度の適正化を進めるとともに、パソコンやコピー機などの機器には待機時の省電力機能を設定した。 エレベーターの使用を控えるよう研究室内で周知し、自粛を促した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り

次年度の課題	既に定着している取り組み（ゴミの分別、未使用室の消灯など）については、今後も継続し、習慣として維持していく。 また、紙製品以外の事務用品についても、順次グリーン商品への切り替えを進めていく。
環境活動者の取り組み評価	エレベーターについては、来客対応時や荷物の運搬時を除き、日常的な使用は一度も行わなかった。 また、日常生活の習慣は個々人で大きく異なるため、無理のない範囲で取り組みの幅を広げられるよう、今後も意識向上を促していきたい。

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 神経解剖学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R56年度実績値をベースに、1年間で1%削減	会議資料はzoomでファイル配布したり画面共有することで紙の資料を廃止する。PCの印刷基本設定を両面印刷にする。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	会議資料をプリント配布することは一度もなかった。印刷は両面印刷を基本とできた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 (特に非実験スペースから出るゴミ) ファイルなど不要備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミの分別は徹底できた。ファイルなどのまだ利用できる消耗品は再利用できた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	教室内で購入物のグリーン購入100%の周知と定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン購入可能なものは全てグリーン購入を選択した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 不在の部屋のこまめな消灯	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	冷暖房の温度は調整を行い、不在の部屋の消灯は気づく限り努力した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
試薬廃液の管理	試薬と廃液の適正管理	試薬の使用記録と廃液の管理を誤りなく実施する	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	試薬の使用記録と廃液の記帳は時々記入漏れがみられた。特に最近所属した方には声掛けを行っていきたい。
次年度の課題	次年度も新しく加わる方がいるので、記帳の漏れがないように注意していく必要がある。				
環境活動者の取り組み評価	実験する人数が多い中すべてに目を向けることは難しいが、委員としては定期的に教室内を確認し、大学のルールに違反することがないように気をつけていきたい。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 循環制御医学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	カラーコピーの使用を制限する。 原則両面印刷とし、2アップ（2枚分を1枚にコピー）をこころがける	12. 5		
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	パソコン、機器のこまめなシャットダウン 実験消耗品（チューブなど）の再利用 適切なごみ分別の徹底 ミックスペーパーの徹底回収	7. 3		
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入の必要性の周知 カタログ又は見積先に確認を行う。	7. 3		
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	こまめな室内電機の消灯 極度な冷暖房設定をやめる パソコン、機器のこまめなシャットダウン 施錠時に施錠者が電子機器のシャットダウンを確認	7. 3		
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
実験廃棄物の管理	適正な管理の徹底	分別の徹底管理方法の周知 廃棄物シールの貼付の指導 新しい教職員への適正管理の指導管理方法の周知 廃棄物シールの貼付の指導 新しい教職員への適正管理の指導	6. 5		
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 生理学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	教室内での連絡事項はメールやオンラインツール（Slack、Teams など）を使用し、紙媒体でのやりとりを最小化する。	12. 5		具体的な取り組み欄に記載した通り、Slack および Teams を活用することにより、紙媒体でのやり取りを最小限とすることができた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別を徹底する。各居室・実験室に適切なゴミ箱や廃棄容器を設置する。分別方法についても定期的に教室内で確認する。	12. 5		教室内での全体会議などの機会において、ゴミの分別方法の注意点や変更点に関する複数回の周知がなされた。 各居室や実験室に設置されている廃棄容器も充実させ、従前と比べて分別が徹底されてきていることを体感している。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	各種物品を購入する際は、可能な限り（本来の目的に支障をきたさない範囲で）環境に配慮した製品を優先的に選択する。	12. 5		具体的な取り組み欄に記載した内容を一部遵守することができた。 グリーン商品購入目標 100% のためには、教室員個々の意識をより高めていく必要がある。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	日中・夜間を問わず、使用していない機器類の電源はこまめに落とす。	7. 3		具体的な取り組み欄に記載した内容を概ね達成することができた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
基礎研究に基づいた新たな診断・治療方法の開発	新規診断・治療法の礎となる成果についてまとめた論文を一報でも多く発表する	現在取り組んでいる様々な疾患（精神・神経疾患、脳損傷、がん、ブレインフォグなど）に関する研究内容をいち早く社会還元できるよう全力を尽くす。日々の研究活動やそれらが将来的に社会に及ぼす影響について、積極的に発信する。	3		ブレインフォグや精神疾患などの新規診断・治療法の礎となりうる論文を計 4 報発表することができた。
次年度の課題	今年度達成できた内容は、引き続き継続していく（ゴミ分別、消灯など）。 グリーン購入品の促進はさらなる向上の余地がある。				
環境活動者の取り組み評価	「グリーン購入品の促進」を筆頭に、教室員個々の意識はより高められる余地があると感じている。 しかし、全体的には事前目標（年度目標）を達成することができたと評価できる。				

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・コピー枚数の削減（コピー裏用紙再使用の推進、2アップ（2枚分を1枚にコピー）） ・コピーによる回覧の原則禁止（スキャナーで読み取った電子ファイルを一斉送信して回覧、Eメールでの転送） ・ペーパーレス会議（会議や打合せなどでのパソコンプロジェクターの使用）	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	実施できている。今後も継続する。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミ減量化に関する取り組み（ゴミ分別の徹底、不要備品の再利用、持ち込みゴミの禁止） ・ゴミの資源化（ゴミ分別の徹底（特に古紙類のミックスペーパーの分別を徹底））	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	実施できている。今後も継続する。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・消耗品、備品についてグリーン購入促進への取り組み（カタログ又は見積先に確認、見積書の仕様欄等にグリーン購入の適合品であることを記入依頼）	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン購入は積極的に実施できていないため、今後、購入促進に努める。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・パソコン、プリンター、コピー機の電気の削減（パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定） ・冷暖房の効率的運転（冷暖房温度の適正化、ブラインドの使用） ・消灯（夜間）の徹底（使用していない部屋、トイレや廊下のこまめな消灯） ・エレベーターの利用（利用の自粛（2UP、3DOWNは階段利用）） ・節水の励行（垂れ流しの防止）	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	概ね実施できているが、実施状況に個人差があるのも現実であるので、継続的に注意喚起する必要がある。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出の削減に努める。	化学物質の使用簿、受払簿の適正な管理	12. 4	12 つくる責任 つかう責任 	実施できている。今後も継続する。
実験排水の管理	水質汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化に努める。	有害な化学物質については、三次洗浄水まで廃液ボトルに廃棄、内容物カードの記載	6. 3	6 安全な水とトイレ を世界中に 	実施できている。今後も継続する。
次年度の課題	消耗品、備品については、グリーン商品の購入促進に努める。省エネルギーの取り組みについては、職場メンバーへの継続的な注意喚起が必要である。				
環境活動者の取り組み評価	大部分の項目で概ね実施できている。次年度の課題を解決できるように、教職員全員が環境管理取組リストの内容に沿って活動し、各自が環境保全への取組みを継続できるように促していきたい。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 分子生物学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	必要部数を確認し印刷部数を削減 ミスプリントの防止を呼びかけ 2アップ・4アップでの印刷 必要に応じて配布物の電子化を推奨	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別を徹底する 再利用可能なものは再利用する ミックスペーパーの回収の徹底	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入について周知し、可能な場合はグリーン購入を実施	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない部屋・トイレの消灯をこまめに行う エレベーター利用の自粛（2 UP、3 Downは階段利用） 使用していないPC、実験機器の電源を切る	7. 3, 12. 2	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  12 つくる責任 つかう責任 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出の削減に努める。	化学物質の使用簿、受払簿の適正な管理	12. 4	12 つくる責任 つかう責任 	
実験排水の管理	水質汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化に努める。	有害な化学物質については、三次洗浄水まで廃液ボトルに廃棄、内容物カードの記載	6. 3	6 安全な水とトイレ を世界中に 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 薬理学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	できるだけ紙の印刷をせずに、電子情報でやり取りする。	12. 4 12. 5		ほぼすべてのお知らせ資料は電子情報で共有され、署名が必要な用紙のみ、印刷された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	unnecessary 物品は買わず、また、資源ゴミの再利用を促進する。	12. 2 12. 4 12. 5		unnecessary 物品は買わず、また、ゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	できるだけ、グリーン商品を購入する。	11. 6		グリーン商品の用紙や文房具を購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	人のいない部屋の電気を消す。	7. 3		使用していない部屋の電気を消すことを徹底した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出の削減に努める。	化学物質の使用簿、受払簿の適正な管理	12. 4		化学物質の使用簿への記載を徹底し、受払簿を適正に管理・保管した。
実験排水の管理	水質汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化に努める。	有害な化学物質については、三次洗浄水まで廃液ボトルに廃棄、内容物カードの記載	6. 3		有害な化学物質を用いたボトルの三次洗浄水まで廃液ボトルに廃棄することを徹底して行った。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（ unnecessary 物品の購入、 unnecessary 情報の印刷、ゴミ分別、消灯など） グリーン商品購入の促進、備品在庫の確認をもう少し頻繁に行う				
環境活動者の取り組み評価	各委員会のお知らせをメールで共有することが浸透し、紙ごみの減少に寄与した。 いまだグリーン商品を探して購入する意識は高くないため、来年はさらに促進していきたい。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 RI 研究センター

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6 年度実績値をベースに、1 年間で 1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全ての PC で両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和 6 年度実績に対し 1% の削減 資源化率 附属病院 85% 以上 福浦 C60% 以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標 100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4 年度実績値をベースに、3 年間で 3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出の削減に努める。	化学物質の使用簿、受払簿の適正な管理	12. 4	12 つくる責任 つかう責任 	
実験排水の管理	水質汚染の減少、投棄の廃絶と有害な化学物質の放出の最小化に努める。	有害な化学物質については、三次洗浄水まで廃液ボトルに廃棄、内容物カードの記載	6. 3	6 安全な水とトイレ を世界中に 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 微生物学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・原則両面印刷・2アップ・4アップ印刷 ・連絡事項はEメールで送信	12. 5		・裏紙への印刷、4アップ印刷 ・Teamsによる回覧、Eメールによる回覧
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミ分別の徹底 ・ミックスペーパーの分別を徹底	15. 5		・ごみ収集の方法を分かりやすくまとめたポスターの作製
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログ、見積時にグリーン適合品を選択する ・グリーン商品であることを確認し、優先的に購入	12. 2		・グリーン商品の優先的購入の徹底
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・冷暖房温度の適正化 ・ブラインドの使用 ・使用していない部屋のこまめな消灯	7. 5		・こまめな部屋の消灯、機器の電源オフの徹底
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
廃液管理	廃液管理を徹底する	・廃液管理簿への記入を徹底する ・実験排水処理方法を再度確認し実行する	6. 5		・当教室でよく使用する廃液の分別表を作成、管理の徹底
試薬・消耗品の把握	試薬棚、冷蔵庫の試薬を確認	・試薬、消耗品の発注を共用し重複を防ぐ ・試薬は共用し、期限切れ試薬をなくす	12. 5		・試薬、備品、機器など購入する際に発注台帳を作成、記入後に正式な発注をするなど互いが購入内容の確認を可能にした。
次年度の課題	人員増加に伴い、試薬、備品の欠品の報告が相次いだため、今後は室員間で情報共有を心掛ける。また、引き続き省資源化、リサイクル、省エネルギーへの取り組みを行い、目標達成を心掛ける。				
環境活動者の取り組み評価	今後も環境に配慮した取り組みを行い、継続してゆく。試薬の管理、適切な廃棄物の処理を行い、常にクリーンな環境と、エネルギー効率の改善率の増加を心掛ける。				

様式1（第8条関係）

<環境管理システム令和7年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 免疫学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
			ゴールNo.	アイコン	
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	文献の印刷を控える。 文書はできるだけデータで扱い、印刷する場合は両面印刷する。 共有する情報はメールを用いて、紙媒体を使わない。	15. 2		文書の印刷はできるだけ控え、印刷するときはできるかぎり両面印刷をした。文書の共有はできるだけデータで共有した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	実験計画・方法を工夫することで使用する試薬・消耗品を最小限にする。	11. 6		実験計画・方法を少し工夫することで、作業の効率化を図り、プラスチック消耗品の使用量を最小限に留める努力をした。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン購入法適合商品の購入を推進する。	12. 5		印刷紙は全てグリーン購入法適合商品を購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない機器の電源は消す。	7. 3		使用していない機器の電源はできる限り消した。特に恒温槽、オートクレーブなど消費電力を大きい機器は使用時のみに電源を付けるよう意識した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
教室内のセミナー資料の電子化	配布資料の電子化	セミナーや研究のディスカッションの配布資料を可能な限り電子化する。	12. 5		セミナーや研究のディスカッション資料はメールやZoomによってファイルを共有した。
次年度の課題	次年度においても今年度と同様に省資源、リサイクルに対する目標達成に向けて努力する。また、昨年度に引き続き4月の初めの教室オリエンテーションで教室の目標とSDGsについての説明をし、特に使用していない機器の電源を消すように促し、教室メンバーに対するSDGsの意識向上に務める。				
環境活動者の取り組み評価	今年度も教室内のセミナーは50%Zoomで行い、50%対面とZoomのハイブリッドで行った。いずれのセミナーにおいてもデータの共有はEメールまたはZoomを用いた。その結果、教室での印刷物の使用頻度が減り、省資源への取り組みの目標を達成できたと考えられる。また、個人レベルで効率よく研究することを意識できるようになり、その結果試薬や消耗品などの無駄な使用が減らせたのではないかなと思われる。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 分子病理学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	文書は可能な限りデータで扱う。印刷が必要な場合は可能な限り両面印刷で行う。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	印刷は署名・捺印が必要な書類に概ね限って実施した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別について周知徹底をする。プラスチックやミックスペーパーなどの分別をおこなう。再利用可能なものはできる限り再利用する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	分別を徹底した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	実験スケジュールにあわせ、在庫状況や使用期限を確認して試薬の購入を行い、無駄な試薬の購入にならないよう努める。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	実験スケジュールを把握しながら無駄にならない試薬の購入に努めた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していない部屋の消灯と冷暖房の適正化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	一部冷暖房の消し忘れなどがみられた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	試薬の適正な管理	試薬使用簿・受払簿への記入の徹底	12. 4	12 つくる責任 つかう責任 	可能な限り実施した。
次年度の課題	今後もSDGsの取り込みを引き続き推進する。				
環境活動者の取り組み評価	空調の効果的使用についてはまだ課題が残る。次年度の目標とする。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 臓器再生医学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	資料のデータ共有と両面印刷を徹底し、紙の使用量を計画通り削減できました。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	ゴミの分別ルールを遵守し、備品の再利用を進めることで資源化率の向上に努めました。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	購入前に適合品であることを必ず確認しました。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	消灯や室温管理、定時退社による業務効率化を行い、エネルギー消費の抑制に繋がりました。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
実験廃棄物の管理	適正な管理の徹底	分別の徹底管理方法の周知 廃棄物シールの貼付の指導 新しい教室員への適正管理の指導管理方法の周知 廃棄物シールの貼付の指導 新しい教室員への適正管理の指導	6. 5	6 安全な水とトイレ を世界中に 	分別の徹底や廃棄物シールの貼付指導を行い、教室全体で適正な管理を継続できました。
次年度の課題	実験廃棄物の排出量そのものの抑制を検討するとともに、より効率的な分別・管理体制の定着を目指します。				
環境活動者の取り組み評価	各項目の目標を達成できるよう積極的に取り組み、部署全体の環境意識の向上と環境負荷の低減に貢献しました。				

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
実験廃棄物の管理	適正な管理の徹底	分別の徹底管理方法の周知 廃棄物シールの貼付の指導 新しい教職員への適正管理の指導 管理方法の周知 廃棄物シールの貼付の指導 新しい教職員への適正管理の指導	6. 5	6 安全な水とトイレ を世界中に 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 遺伝学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする。 印刷の設定を両面設定にしておく。 詰替商品など活用する。	12. 5		Microsoft Teamsおよび電子ファイルの使用により紙面の削減につながった。 裏紙回収用のレータボックスを設置することで、裏紙使用が推進できた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別を徹底する。マイボトルの使用 ペットボトル回収マイボトルの使用古紙の適切な分別	12. 5		昨年に引き続きミックスペーパー、雑誌・カタログ、新聞・チラシ用の回収ボックスを活用し分別の徹底に務めた。不適切な分別が認められた場合は、メーリングリストで周知を行い、ゴミ箱に注意喚起の張り紙を掲示した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	グリーン商品の一部購入（ファイル、蛍光ペン、テープのり、ティッシュペーパー等） カタログ又は見積先に確認を行う	12. 5		グリーン購入法適合マークの記載がある商品（チューブファイル等）を購入した。またテープ糊、修正ペンは詰替タイプを使用することでゴミの削減に務めた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	不要な照明の消灯 使用していない電気製品、実験機器の電源OFF コピーの待機時省電力機能の設定 冷暖房温度の適正化(27-28℃程度)とサーキュレータの併用階段利用 2アップ3ダウン	7. 3		コピー機は不使用時の節電モード設定が徹底されていた。夏季は扇風機との併用により室温の適正化と節電に取り組んだ。実験機器の電源もこまめに電源OFFとすることを研究室内で徹底した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
環境上適正な化学物質、廃棄物の管理	使用試薬の正確な把握	使用簿、受払簿の適正な管理を行う 劇毒物の保管庫の施錠管理を徹底する 試薬棚に使用簿への記入を喚起する 張り紙を掲示する 安全マニュアルを試薬棚に配置し取り扱いの確認を啓蒙する	6. 5		使用簿を保管場所ごとに分けて設置し書き忘れ防止に努め適正な管理を行った。廃液・洗浄に関する張り紙を新しいものに張り替えて注意喚起に務めた。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（ゴミ分別、消灯など）。グリーン購入法適合マークの対象商品について認知度が低いように感じられたため、更なる周知が必要と考えられる。				
環境活動者の取り組み評価	研究室全体としてゴミの分別、省エネの取り組みへの意識は概ね浸透しているように思われる。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 公衆衛生学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・オンライン講義に伴う配布資料のデジタル化 ・オンライン形式での試験を実施 ・原則ペーパーレス会議を実施	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	オンラインによる講義と試験により紙資料の削減ができた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ファイル類の再利用を行う ・学内の再用品物品コーナーを活用 ・原則両面印刷を行っている ・ミックスペーパーは古紙として出す。 ・その他ごみの分別の徹底	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	ミックスペーパーを古紙として出すことを徹底した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・環境に配慮した用紙を用いるよう心掛ける ・環境管理責任者による啓発・確認を行う	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	環境に配慮した用紙を購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・季節に合わせた軽装で業務に当たる ・各部屋に扇風機を配置し、冷却効率と換気を高める ・パソコン、コピーの待機時省電力機能の設定 ・ブラインドの使用 ・使用していない部屋の消灯 ・2 UP、3 DOWNは階段利用 ・水道水の垂れ流しの防止 ・業務の効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	各部屋に扇風機を配置し、換気効率を高めた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	Teamsを用いて情報共有に努め、テレワークでも円滑に業務が施行できるように配慮した
次年度の課題	次年度は過去に取り組んでこなかった項目にも意欲的に取り組んでいきたい。				
環境活動者の取り組み評価	省資源、省エネルギー、柔軟な働き方の項目は教室として継続して取り組んでおり、定着してきた感覚を持っている。既存の項目は新たに着手できるアイデアがないか、またこれから取り組みたい項目について、教室で意見を集めていきたい。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 法医学

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	両面印刷または裏紙を使用して印刷する。研究室のミーティングはTeamsやZoomで行い、資料は電子ファイル化して情報共有する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	今年度も印刷物の両面印刷や裏紙使用を徹底した。また、論文などの資料については、電子媒体読むよう促した。ミーティングは引き続き、Teamsで行っており、Zoom解約の影響はない。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別を徹底する。 使用済みファイルの再利用。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	教室員のゴミの分別意識が高く、徹底されていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	業者にグリーン購入が可能な商品か確認する	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン購入可能な商品か確認を徹底した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	不在の際に空調の電源をOFFにする。 機器の省エネ機能を活用する。 最後に退社する人が各部屋の照明や機器の状況をチェックする。	7. 3 12. 2	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  12 つくる責任 つかう責任 	教室員の省エネへの意識が徹底されており、最後の帰宅者のチェックにより照明やPCの消し忘れが少なくなった。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
法医解剖や検案に使用する消耗品の節約	解剖および検案で使用するガウンやマスクなどを節約する。	最低限の人数で解剖業務を行い、消耗品の消費を最小限にする。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	解剖業務に携わる人数を制限したが、業務クオリティは変わらず行うことができた。
次年度の課題	年々、リサイクルや省エネに対する意識高くなっているため、継続していく。解剖に関連した資料の印刷物がやや多いため、電子媒体での記録への変更を検討する。				
環境活動者の取り組み評価	解剖業務が増加しているが、少人数での施行は継続できたため、消耗品の節約、ゴミの排出量も制限できた。次年度も継続すし、感染ゴミを減らしていきたい。年休や夏季休暇などを積極的にとるようにミーティング時に伝達し、教室員への意識付けに努めた。次年度も引き続き、働き方や環境管理を徹底していきたい。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 バイオバンク室

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5		ほぼすべてのお知らせ資料はメールで共有し、紙ベースでのファイル設置が必要な書類と、署名が必要な書類のみ、印刷した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5		決められた分別種類ごとにごみ箱が設置され、分別種類、廃棄場所、廃棄方法（束ねるなど）も守られていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5		最も環境負荷の低い、古紙パルプ配合率100%の再生紙を使用している。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3		使用していない部屋の消灯、昼休み中など不在時の消灯を積極的に行った。 水の使用は、必要時のみ最小限としており、節水出来ている。 エレベーター利用に関しては、検体運搬時等以外は可能な範囲で自粛するように促している。 冷暖房は推奨の温度に設定し、執務室では退勤の数時間前から電源をオフにしている。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬の管理	人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出の削減に努める。	化学物質の使用簿、受払簿の適正な管理	12. 4		試薬は保管庫や冷蔵庫で適正に管理している。
検体の採取、保管、提供	病気の原因究明、新しい治療法の開発、医療技術の開発、薬の開発など、医学研究のために検体を提供する	自分を危険物から守る身だしなみ、 検体を安全に採取する 安全、適正に管理・保管する 研究者へ検体を提供する	3. 8		検体採取時は細心の注意を払い、白衣、グローブ、アイガードの着用、長髪の場合は束ねるなど、検体を扱うにふさわしい身だしなみで安全に作業し、退室時には手洗いを徹底している。 安全、適正に検体を管理・保管し、研究者に検体を提供している。
次年度の課題	引き続き省資源の取り組みを続けていく。				
環境活動者の取り組み評価	環境管理に対する意識共有は室員間でできており、これからも継続していきたい。				

様式 1（第 8 条関係）

＜環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート＞

所管部署名 プロテオーム解析センター

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	・両面印刷あるいは2アップ印刷を心がける ・文献はプリントアウトを控えPDFファイルで閲覧する ・連絡事項はチャット、Eメールを利用する	12. 5		コピー用紙は両面印刷、2アップ印刷を心掛けた。 裏面が白紙の物で再利用可能な場合は、メモ帳もしくは片面印刷として利用した。 文献閲覧はネットでの閲覧を基本とし、連絡事項はチャット・E-mail利用が定着した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ゴミの分別を徹底する。特にプラスチックに関しては自治体とは違うため注意する ・ミックスペーパーと燃えるゴミの分別を理解して徹底する ・備品の再利用	15. 2		製品の外箱等のミックスペーパーと燃やすごみは分別し、燃やすごみを減量化した。 プラスチック類のごみは福浦キャンパスのルールに従い、分別を徹底した。 備品の動作不良時は、必ず修理見積りを依頼し、修理可能なものは修理して再利用した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・カタログまたは見積時にグリーン適合品があるかの確認をして優先的に購入する	12. 5		カタログまたは見積りに時にグリーン適合品を確認し、優先的に購入した。また、修理可能品であるかも考慮して購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	・パソコン、コピー機を節電モードに設定 ・節水のため器具洗浄時の垂れ流し防止 ・エレベーター利用の自粛 ・冷凍庫、冷蔵庫の開閉時間の短縮 ・使用していない部屋のこまめな消灯	7. 3		パソコン、コピー機、シュレッダー等の待機時省電力モード、部屋不使用時のこまめな消灯、エレベーター利用の自粛を徹底した。 器具洗浄時は洗瓶を使用し、節水を促進した。 冷凍庫内の保管品リストを作成し、目的物を探索する時間を削減して開閉時間を短縮した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
試薬、消耗品の把握	試薬棚、冷蔵庫内の試薬を確認	・試薬、消耗品の発注はオーダーリストを共用し重複を防ぐ ・試薬は使用期限を確認し使いきれの量の製品を購入する	12. 5		消耗品・試薬の在庫管理リスト及びオーダーリストを活用し、購入品の重複や無駄な購入を予防した。 また、使用期限の短いものから使用し、先入れ先出し（FIFO）を徹底した。
廃液管理	廃液の管理を徹底する	・廃液管理簿への記入を周知する ・実験排水処理方法を確認し実行する	6. 3		廃液管理簿の担当者が中心となり、管理簿への記入を徹底した。 処理方法が不明の場合は、施設へ問い合わせたうえで適切な処理を実行した。
次年度の課題	廃棄物の減量化を目指して、特にペーパー類は細分化などゴミの分別を習慣化していく。また試薬、消耗品は必要であるかを考慮してから重複を避けた購入を心がけ、機器の故障は修理可能かを確認して無駄な購入は避ける。グリーン適合品の購入を促進する。連絡事項は引き続きPCチャット、Eメールを利用しペーパーレスを目指す。				
環境活動者の取り組み評価	各々が自らの行動に責任を持ち、環境に配慮した取り組みを実施したことにより、年度目標は概ね実施できたと思う。ペーパーレス化が浸透し、お知らせ・実験の進捗報告はメールやチャットでのデータで共有することが増えた。グリーン適合品の購入についての意識はまだまだ高くないため、来年はさらに促進していきたい。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 集中治療部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	カンファレンスで配布する紙ベースの資料を一部撤廃する。また共有・周知事項はメールでの共有とする。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	前年度に引き続き紙資料の削減は達成できた。個人情報保護の観点からも有用であった。遠隔ICUの引継ぎもスリム化を検討している。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別徹底 ファイル、マウス、ディスプレイなどの不用品の再利用を行う	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	一部マウス、ファイル類の再利用を行った。ごみの分別は新年度から配属される専攻医にも主チスル。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	詰め替え型の消耗品を優先して使用している。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	夜勤当直帯の控室およびカンファレンス室のの消灯と、冷暖房の温度設定に特に留意している。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	医師事務補助者やコメディカルへのタスクシフト カンファレンス時間の短縮 夜勤明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	重症度スコアリングや一部ルート類確保などの処置をタスクシフトすることが可能であった。
次年度の課題	タカンファレンスの定時内終了はおおむね達成できてきている。朝カンファレンスの平均時間短縮をKPIとして次年度は取り組みたい。				
環境活動者の取り組み評価	会議・ミーティングのweb移行、資料のデータ共有はおおむね達成できてきている。年度内でも新配属者が多く、活動の周知が課題である。Teams等を活用して進めていく。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 薬剤部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	職員への周知、回覧事項は印刷物は避け、原則としてメールを使用する。可能なものは、両面印刷と2アップでコピーを行う。	12. 5		極力、印刷物を少なくするように取り組めた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	医薬品の個装箱を圧縮して廃棄するように努める。また不要備品の再利用を行う。	12. 5		個装箱を圧縮して廃棄するよう努めることができた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	同等品があればグリーン商品を優先的に購入する。	12. 5		年度を通じて優先購入に努めた。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	当直時、不要な照明の消灯とPCシャットダウンを行う。プリンター4台の入れ替えを行った。従来の古いタイプよりも省電力が期待できる。	7. 3		不要な照明の消灯を呼び掛けた。プリンターの機種が新しくなったため、省電力が期待できた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs 目標ターゲット		振り返り
試薬・廃液の取扱い	試薬・廃液の取扱いを管理する	製剤室で製剤品を調製する際に発生する排液の適正な管理並びにそれら使用簿、受払簿の適正な管理を行う。	6. 3 12. 4	 	適正に管理を行うことができている。
次年度の課題	医薬品の購入量が増えているため、個装箱などの廃棄物が増えていると考えられる。さらに減量する取り組みを行うことが必要である。				
環境活動者の取り組み評価	機器の購入時には、省エネタイプを選択する。省電力などの呼びかけを行うなど、環境活動の啓発に努めることができたと考える。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

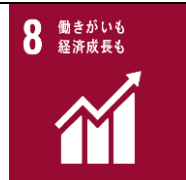
所管部署名 臨床検査部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	PCで作業が完結できる資料はPDF化して紙を使用しない運用にする。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	継続してマニュアルの印刷はせず、PDFファイルで共有できた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	検査試薬を大量に使用するため、紙を資源ごみに分別する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	分別できた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	購入商品でグリーン購入できるものを調べ、代替え可能であれば、切り替える。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン購入物品がなかった。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用していないパソコンは電源を切る。当直時は使用していない場所の電気を消す。水の使用に注意する。	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	人が活動しない場所の電気は消灯、エアコンも使用時のみ運転にした。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
次年度の課題	出来ていることを継続する。				
環境活動者の取り組み評価	紙の削減、省エネ意識が浸透してきた。全ての職員にも共通認識として浸透できている。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 輸血・細胞治療部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	資料は特に必要な場合を除き、印刷をせずにPCやタブレットで参照した。印刷する場合は可能な限り両面白黒印刷で対応した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 病理部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	コピー用紙の削減	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	概ね削減できた。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不要物品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	黒ペールにて捨てる物を見直して削減した
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログや見積もりでより安価な物品を購入する	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	概ね達成出来た。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 エレベーター使用の自粛 業務効率による残業の短縮	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	冷房温度は、機器や作業の関係で出来る範囲での適正化は出来た。こまめな消灯やエレベーター使用自粛は概ね達成出来た。業務効率化による残業の短縮は技師は達成できた。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs 目標ターゲット		振り返り
試薬の管理 使用簿、受け払い簿 の適正な管理	試薬の適正な使用 環境上適正な使用	試薬の管理を徹底し、期限切れなどの無駄な使用がないよう管理する ホルマリン管理のマニュアルの見直し	12. 4	12 つくる責任 つかう責任 	試薬の管理は徹底出来た。ホルマリン払い出し管理を紙から直接パソコンへ入力するようにして紙の使用を減らした。
次年度の課題	こまめな消灯やコピーや印刷の削減、ごみの分別や黒ペールの適正使用を今後も継続して行く。欠員で出来なかった医師の働き方改革での技師のタスクシフトを再開して医師の切り出し負担を減らす。				
環境活動者の 取り組み評価	こまめな消灯やコピーや印刷の削減、ごみの分別や黒ペールの適正使用は出来た。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

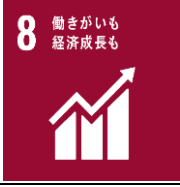
所管部署名 放射線部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 看護部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	管理会議や師長会などの資料の共有は、紙面での配布ではなく、データを用いた共有を行う。 印刷に関しては、部署周知が必須と判断した資料を印刷する。	12. 5		引き続き管理会議や師長会の資料は紙ではなくデータで共有し、印刷は部署周知が必要なものに限定して実施した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5		MJR内で検討したごみの分別の周知活動、不用品の再利用に努めた
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	物品購入など行う際は、物品担当に確認する	12. 5		物品購入にあたっては、重複購入を防ぐため物品担当へ事前確認を行った。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯や休憩時間など、患者の療養環境に関与しない場所（特に看護管理室は休憩時間の消灯を実施） 節水 エレベーター利用の自粛	7. 3		冷暖房は適正温度を維持し、使用していない部屋や休憩時間の看護管理室では消灯を徹底し、節水に努めるとともに不要なエレベーター利用を控えて省エネルギーに取り組んだ。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各部署での業務改善に向けた取組 年次休暇の取得推進 柔軟なリリーフ体制の実施	8. 5		各部署で業務改善に取り組み、年次休暇の取得を促進するとともに、状況に応じて柔軟に対応できるリリーフ体制を実施した。
次年度の課題	1. 既にできていることは習慣化していく（ゴミ分別、消灯など） 2. 業務改善やリリーフ体制の運用を継続し、部署間での負担差をさらに減らす。				
環境活動者の取り組み評価	管理会議資料のデータ共有や印刷削減、ゴミ分別の周知と不用品再利用、物品購入時の事前確認、省エネルギー行動の徹底、さらに業務改善や休暇取得推進、柔軟なリリーフ体制の実施により、環境配慮と働きやすさの向上に一定の成果が見られた。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 栄養部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6 年度実績値をベースに、1 年間で 1%削減	・ 回覧、通知文はメール配布 ・ コピーは両面、2in1 など枚数削減 ・ コピー損じ、メモ紙へ利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	今年度も継続した取り組みをじっしした。他部署で一部コピー用紙の廃棄分をいただき、活用をした。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	・ ゴミの分別、ごみ箱の区別 ・ 廃油リサイクル	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	問題なく継続している。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	・ カタログ又は見積もり先に確認を行う。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	特に該当する購入はなかった。
省エネルギーの取り組み	R4 年度実績値をベースに、3 年間で 3%削減	・ 不在時、こまめな消灯、電源OFF ・ 冷暖房、温度の適正化 ・ エレベーターの利用自粛 ・ 退社時間の短縮	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに	必要最低限にするよう周知。適切な運用を委託会社含め、心がける。冷暖房時には部屋の開閉などもこころがける。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の試み	コピー用紙を減らす	・ 回覧、通知文はメール配布 ・ 栄養部OneDriveの文書閲覧 ・ メール会議の活用 ・ 資料のWEB閲覧 ・ 勤務表はWEB管理化	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	左記の目標を実施している。
省資源の試み	厨房内使用する消耗品の適正管理の実施。	・ 消耗品洗剤類は使用状況を確認（購入状況含め）し、適正使用を心がける。（洗剤、漂白剤等の消耗品）	12. 5	12 つくる責任 つかう責任	使用状況を定期的に確認している。
次年度の課題	最低限、今年度の取り組みを維持する。 特に電子カルテを確認して業務を行う際に、ハードコピーをとることが多かったがこれらについては必要最低限として、必要最低限なことをメモに置き換える等実施する。				
環境活動者の取り組み評価	メール周知、配布物はメールを使用するなど習慣化している。 全員効率化や節約になっていることを実感している。 病院全体の取り組みが浸透してきていると思われる。				

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 感染制御部

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 医学教育推進課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5		ほぼすべてのお知らせ資料は課内Teamsで共有され、必要最低限な用紙のみ、印刷された。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5		ゴミ分別はもえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙と細かく分けられ、概ね守られていた。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5		購入費用の一部が植林活動へ寄付されるコピー用紙を購入した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3		冷暖房の最適温度設定を徹底した。 使用していない部屋の消灯を積極的に行った。定時退勤を守るのは困難であったが、ほぼ全職員が昨年度より残業時間が短縮化した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5		有休消化を積極的に促した。 スタッフによるカフェミーティングを開催し、率直なご意見の吸い上げや心理的安全性を確保できる環境構築に努めた。
次年度の課題	既にできていることは習慣化していく（ゴミ分別、消灯など） 業務のスリム化、残業時間短縮の促進、有給休暇の積極的な取得、テレワークを可能な範囲で拡大する。				
環境活動者の取り組み評価	課内全体や担当ごとのお知らせはTeamsで共有することが既に浸透しており、プリンターや用紙使用量の減少とともに、打ち合わせやカンファレンスの時間短縮にも寄与した。 残業時間短縮化や有休取得の推進については、一部スタッフにおいては意識づけにとどまるため、来年は全員でアクションできるよう全体に浸透させたい。				

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 総務課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R5年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	自部署が所管する会議や打ち合わせについて、原則として紙面印刷や配布は行わず、PCの持ち込みにて対応した。
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和5年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	もえるごみ、プラごみ、ペットボトルごみ、缶、紙の分別を徹底できた。ファイル等も再利用を推進した。
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	グリーン商品購入を奨励した。
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	2F、4Fの事務系執務室において、19時以降の冷暖房を自動停止するよう運用を変更した。2F、4Fの渡り廊下の冷暖房を停止した。
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携 常勤医と外来専任医の連携・分担 当直明けの休息時間の確保	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	チームミーティング等において、適宜業務量を共有し、必要に応じて相互補完した。
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

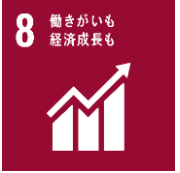
所管部署名 医学・病院企画課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	原則両面印刷とする。 コピーをする前にコピーの設定が正しいか再度確認する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミの分別を徹底する。 ファイル類は再利用コーナーにあるものを原則使用する。 使わなくなったファイル類は再利用コーナーに返す。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	備品・消耗品等を発注する際には、発注先又はカタログでグリーン商品であるか確認する。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	使用しない照明、空調はこまめに消す。 サーキュレーターを使用し室内の温度差を抑制する。 ブラインドを活用し、冷暖房の運転を効率化する。	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当SDGs目標ターゲット		振り返り
会議の見直し	ペーパーレス会議の推進	パソコンを活用しペーパーレス会議を進める。	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					

様式 1（第 8 条関係）

<環境管理システム令和 7 年度 目標設定・振り返りシート>

所管部署名 研究基盤課

共通項目	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
省資源の取り組み	R6年度実績値をベースに、1年間で1%削減	各委員会のお知らせや資料の共有は、紙面での回覧ではなくメールでの共有とする 印刷の設定を全てのPCで両面設定にしておく	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
廃棄物減量・リサイクルの取り組み	令和6年度実績に対し1%の削減 資源化率 附属病院85%以上 福浦C60%以上	ゴミ分別の徹底 ファイルなどの不用備品の再利用	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
環境負荷の少ないグリーン購入の促進	グリーン商品購入目標100%	カタログまたは見積もり先に確認を行う 環境管理委員による教室内の購入物の定期的なチェック	12. 5	12 つくる責任 つかう責任 	
省エネルギーの取り組み	R4年度実績値をベースに、3年間で3%削減	冷暖房温度の適正化 使用していない部屋の消灯 節水 エレベーター利用の自粛 定時退社の徹底 業務効率化にて残業の短縮化	7. 3	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 	
所管業務目標設定	年度目標	具体的な取り組み	該当 S D G s 目標ターゲット		振り返り
働きがいのある人間らしい雇用	働き方改革の推進 残業時間の短縮	各チーム内の業務分担 チーム間の相互連携	8. 5	8 働きがいも 経済成長も 	
次年度の課題					
環境活動者の取り組み評価					